

通院二十年謝辞
大西 七郎



本日第四十三回鈴森会に於いて、我々十一名が鈴森内科クリニック通院歴二十年の表彰を受け、その代表として謝辞を述べる榮譽に浴した事に感謝を申し上げます。

平成元年の初診以来、今日迄どうか無事に生きてこれたのも、諸先生、職員の皆さんの適切なご指導の賜物と思います。

若い時、暴饮暴食、不摂生な生活を繰り返し、当然の帰結として人間ドックで糖尿病の発症を宣告されました。

当時家内の父が、クリニックにお世話になっていた関係で、紹介を受け爾来二十年、当院を介して糖尿病と一病息災の付き合いをしていく事になりました。十五年前、真夏の猛暑の中、ゴルフの合間に美味しいビールをがぶ飲みしたその夜中の三時頃、お腹の前後背中に激痛が走り、脂汗たらたら、痛みにのたうちまわり立つ事も出来ない状況の中、先生に電話しましたら、それは「急性膵炎」だ、直ちに入院しなさいとの一言で、虎ノ門病院に緊急入院し直直の医師にもう一時間遅ければ「あの世」行きましたよ、と言われたものです。

先生の適切なアドバイスで、一命をとり止めた次第でございます。また、元来、耳鼻咽喉科系が弱い体質の為、六〇七年前に急性副鼻腔炎に罹りましたが、先生の即座の指示で「三葉病院」に緊急入院し、事なきを得ました。これも馬鹿に出来ない病気で、対応を誤れば三途の川を渡る破目になるそうで、自分にはまだ運があるのだと、つくづく思ったものです。昨年十一月にはドック健診で大腸ポリープが見つかり内視鏡で除去し「大腸ガン」への進行を事前に食い止めました。こういう事例を並べて考えれば、面と向かっては、中々言えないのですが、ありがたいことだと感謝しております。

人生八五年の時代、六七歳はまだまだ若い、更なる進化を求め仕事に運動に益々意欲を持って生きたいと思っております。

私の大好きなサミエル・ウルマンの詩「青春とは心の持ち方」を言うのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うとき初めて老いがくる。歳月は皮膚にしわを増やすが情熱を失えば心はしぼむ。」の言葉を自分自身と会場の皆様に贈りたいと存じます。

最後に、鈴森内科クリニックの益々の充実と鈴森会の発展ご来席の皆様御健勝を祈念申し上げ簡単ながら御礼の謝辞と致します。本日は誠に有難うございました。

お陰様で現在はヘモグロビンA1cも6%台を維持

四十年通院謝辞
吉川 文雄



通院代表者として一言ご挨拶申し上げます。

この度は、通院四〇年の患者として表彰頂きまして、誠に有難う御座いました。私は七四歳です。実は叔父の紹介で鈴森内科クリニックの門を叩いたのは、三二歳の時です。それから通院四二年になります。この長い通院のあいだに先生には二度命を救われました。一度は胃の病で、これは定期検査で発見され手術をしましたが、今より七年前の平成一三年三月でした。

いかに定期検査が大事か、を思い知らされました。もうひとつは自宅でもものすごい嘔吐の襲われまして、鈴森内科クリニックに連絡をしたところ、すぐに来いとのお事で、行きました。検査の結果肝機能の指数が何と四桁で急性肝炎との診断でした。即入院とのことで鈴森内科クリニックより救急車で東京医科歯科大へ緊急入院をいたしました。無事退院する事が出来ました。

これもひとえに先生や職員のおかげと深く感謝をしています。次で御座います。今後とも一生懸命、先生方や皆さんのご指導のもとに治療に励んでゆく所存です。

名誉会員謝辞
鈴木 繁子



最後にになりましたが、鈴森内科クリニックの益々の発展と皆様方のご健勝並びにご多幸をご祈念申し上げます。さて、はなはだ楚辞ではございますが、謝辞とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。

私は、自分が糖尿病であることを全く自覚していませんでした。六十二kgと太っていた。私は、食事のすすむのは元気の印と信じていたのです。それは町会の旅行に行つた時の事です。私のあまりの太りにびっくりしていた人が、私が就寝時にお腹がすいたから何か食べに行こうと誘った所、急に真面目な顔で、鈴木さん東京に帰ったら病院で検査した方がよいのではと仰るのです。毎日忙しく、なかなか病院に行く気になりませんでした。所が母が脳梗塞になり糖尿病の原因との事で、私も仲良くしていた伊藤さんに相談したところ、鈴森内科クリニックを紹介され、糖尿病と診断された上、厳しく食事制限をする事になりました。最初はお腹がすいて仕方がありませんでしたが、今ではすっかりなれ、HbA1cも6%で安定して体重も四十五kgとなりました。

三番目の弟は、アメリカの日本企業に三十年も勤めていたのですが、定年後、糖尿病とわかり治療していた所、白内障となり、手術をする時に、こんな目を手術した事はない等と言われ、日本で病気を治療しようと妻子を置いて、帰国し白内障の手術し、その後全身検査の結果、大腸癌もみつかり手術をして、そのまま日本に住んでおります。私は、こうして長生きしていること考えてみると、先生の指導を守って、日常生活を送っていたことが良かったのだと考えています。かえすがえすも、亡くなった弟達のことを残念でなりません。私は定期的に検査していただき、目・腎・心臓・血圧・脂質・腎異常の心配もなく明るく暮らしているのは、本当に有りがたい事と考えています。これからも宜しくお願ひ申し上げます。

最後にになりましたが、鈴森内科クリニックの益々の発展と皆様方のご健勝並びにご多幸をご祈念申し上げます。さて、はなはだ楚辞ではございますが、謝辞とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。



1st anniversary
発売1周年を迎えました。

骨粗鬆症治療薬
Fosamax Tablets 35mg
アレンドロン酸ナトリウム 水和物 錠

万有製薬株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
ホームページ http://www.banyu.co.jp/

Registered trademark of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A. 2007年10月作成 10-12FSM-07-J-A17-J

病氣と闘う人たちの光となるために。



Leading Light for Life
アステラス製薬

www.astellas.com/jp/

人間の遺伝子情報と病気のメカニズムの解明によるゲノム創薬。
最先端の技術と揺るぎない情熱。
アステラス製薬は、可能な限りのスピードで
新薬の開発に取り組んでいきます。

日本発、医療用医薬品の世界企業へ